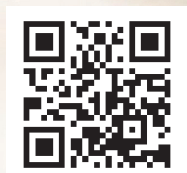


# この会社には「イト」がある。

1872年創業。

澤村株式会社は独創性豊かな繊維専門商社として  
幅広く事業を展開しています。



澤村株式会社



NEXT STAGE

## 【国内グループ会社】

株式会社マミーナ：<https://www.mamma-net.co.jp>

<https://www.lyn-dl-shop.com> (ONLINE SHOP)

株式会社ひむか：<https://himuka-net.co.jp>

代表取締役社長

**春日 英一郎** 氏

澤村株式会社

大阪市中央区南本町 1-4-8

<https://sawamura-net.co.jp/>



2025年8月に設立100周年を迎える繊維総合卸の澤村株式会社。同社の始まりから現在、そして未来に向けての想いを春日社長にインタビューしてみた。

## — 設立について教えて下さい

**春日** 澤村株式会社は1925年（大正14年）8月25日に「株式会社澤村商店」として兵庫県神戸市葺合区（現在の中央区）で設立されました。創業者である春日健治が丁稚奉公していた「澤村太七商店」（京都・1872年（明治5年）4月1日設立）から、暖簾分けという形で別家したのが始まりと聞いています。しかし、1937年（昭和12年）に「澤村太七商店」の従業員と商圏を弊社が引き継ぐ事になり再び一つの形となりました。このような経緯もあり創業は1872年としており、2022年には創業150周年を迎えました。来年の8月25日には設立100周年を迎えるのですが、これもひとえに沢山の方々のお力添えによるものであると、社員一同心より感謝しております。

## — 最近の業績に関して

**春日** 2012年に売上高が100億円を割りコロナ禍に突入した2021年までの10年間、売上高は100億円台に回復しませんでした。た

だ、売上高100億円台復活という事に固執する事はありませんでした。勿論、売上高100億円超えという響きが欲しくなかったのかと言えば嘘になりますが、売上高よりも中味重視の「筋肉体質の経営」と仕入先様との「共存・協業」という方針を最優先にしていました。その結果なのかは分かりませんが、2022年からは売上高も100億円台に回復し、現在に至っております。2024年9月期を迎える決算も何とか売上高112億円前後で着地できそうな見通しであります。これは社員が本心に頑張ってくれた事に加え、弊社の要望に応えてくれた各仕入先様のお陰であると実感している次第です。

## — 現在の取扱商品について

**春日** 現在の弊社の取扱商品が大きく2つに分かれています。テキスタイルと製品になります。テキスタイルに関しては衣料テキスタイル／産業資材テキスタイル／レースに分類され、衣料テキスタイル分野では様々なシーンで弊社の生地が採用されています。また年々細かな改良を重ね、息の長いアイテムとして継続している品番もございます。売上構成比率は約60%を占めており、弊社の主軸であると言っても差支えの無い事業でもあります。また「NEXT STAGE」という



インナー向けテキスタイル「NEXT STAGE」





総称でインナー用途向けに在庫を構えてB O O K 帳展開を行い、小口対応の販売も行っております。インナー向けの場合、要尺の問題が大きく影響を受けますので、ご利用いただいているお客様のニーズにも即しており評価を頂いております。

「上海紗華貿易有限公司」は「澤村」のテキスタイル部隊の海外輸出のハブとしての役割を担っており、弊社が国内で手掛けた生地を海外で販売する窓口となります。現在の弊社は間接輸出の比率が高く、直接輸出の割合が高くなりません。神戸から海外へ向けた生地の輸出が澤村株式会社の始まりですので、直接輸出の規模を拡大させていく事が今後の方針の一つでもあります。

### ——これからの澤村

春日 今までの100年とこれからの100年ですと、世の中のスピード感が格段に速く流れていく事になるでしょう。そのような時代に踏み入りますが、澤村には先人たちが、いかなる時代にも守り続けてきた精神があります。それが「スリーハートの精神」であり企業理念の原点となるものであります。「販売先」「仕入先」そして「澤村」の三者が一

体となり、三つの「心」をもって共存共栄する。これが「スリーハートの精神」であり澤村の諸先輩方が実践してきたものであります。そんな綺麗事では経営なんて出来ないかと嘯くのではなく、それが実践出来ないようでは商いをする資格は無いと考えるべきでしょう。この精神を受け継ぎ時代の流れに即して行動していく。これはブレないように次の世代にバトンを渡していかねばなりません。

本当に有難い事に100年という節目が目前にまで迫るなか、私を含めた全従業員が自分自身を見つめ直す良い機会である事は間違いありません。「仕入先」様から購入させていただける。そして「販売先」様から選んでいただける。この商売の正道をこれからも求め続け、澤村にしか出来ない事を発信していけるように心掛けていきます。

製品に関してはインナー製品／スポーツ・アパレル製品／非衣料製品に分類されます。販売ルートも多岐に渡り、OEMやODM、カタログやネット販売にTVショッピングなどお客様が展開されておられる分野で様々なアプローチをさせていただいております。売上構成比率は約40%で、生産は海外が中心となっておりますが、インナー製品の一部はグループ会社である「株式会社ひむか」を中心に国内生産を行っています。また衣料系製品だけに留まる事なく、教育玩具などの非衣料製品の分野も徐々に増えてきております。

### ——澤村グループについて

春日 現在、澤村グループは弊社に加え、「株式会社マミーナ」、「株式会社ひむか」、「上海紗華貿易有限公司」の計4社で構成されています。「株式会社マミーナ」はファッションの旬をいち早くインナー製品に取り入れ、小売展開を行っており、現在は「ルミネエスト」をはじめとした主要都市部のみで店舗展開しております。「株式会社ひむか」はレディースインナーの縫製業で、創業から50余年、優れた縫製技術と経験をもとに柔軟な生産体制を展開しております。弊社を含めたこの3社で「澤村」が生地の手配を行い、「ひむか」が縫製を



国内で柔軟に生産対応する株式会社ひむか



インナーを小売展開する株式会社マミーナ



今年5月に開催した取引先との絆を深める「P&C会」にて